

NEWS RELEASE

今日の沖縄がまるっとわかる！スマートフォン向けアプリケーション「おきコレ」 9月26日よりサービス開始

沖縄県内の新聞・テレビ・ラジオなどのメディア7社、及び株式会社アドスタッフ博報堂、株式会社博報堂DYメディアパートナーズの計9社からなる「エリアプロジェクト@おきコレ」(※1)は、2014年9月26日より沖縄県内に関するニュースや生活情報などのまとめたスマートフォン向けアプリケーション「おきコレ」の運用を開始致します。「きょうの沖縄がまるっとわかる！地域のためのニュースアプリ」をコンセプトに、沖縄で生活するためにぜひ知っておきたい情報を、毎日お届けしていく予定です。

■「おきコレ」とは？ ■

「おきコレ」とは、“沖縄 これだけは知っておきたいこと”という意味です。ここでは、沖縄県内の気象情報(沖縄気象情報)や、各社が放送・配信したニュース(沖縄ニュース)などを提供していきます。また、「沖縄コラム」では「おきコレ」のオリジナルニュースの他、県内でおなじみのアナウンサーブログ、就活の学生がチェックしておくと便利な情報などを、様々な角度からお届けいたします。「沖縄スポーツ」では、県内でのスポーツの結果のほか、沖縄出身のプロ野球選手やサッカー選手の情報も提供予定です。

その他、沖縄のテレビ・ラジオの番組情報(「今日のテレビ」「今日のラジオ」)、沖縄県内のイベント情報やグルメ情報(「イベント」「グルメ」)など、“沖縄のことならまる分かり！”。沖縄県民は、ぜひともスマートフォンへインストールしておきたいアプリケーションです。



「おきコレ」画面イメージと掲載情報



「おきコレ」公式キャラクター おきコレちゃん

なお、本アプリケーションのサービス提供を開始するにあたって、沖縄県内で2014年3月17日～4月17日にかけて、60名のテストモニターに対してアプリケーションを提供し、実証実験を行いました。(※2)

(アプリケーション 仕様)

提供開始：2014年9月26日 より提供開始

対応機種：スマートフォン(通信業者を問わず利用可能)、Android4.0以上、iOS7およびiOS8
※すべての端末での正常な動作を保証するものではありません。

利用方法：AppStore、Google Play™からダウンロード・インストールし、ご登録ください。

料金料金：無料 ※別途パケット通信料がかかります

■お問い合わせ先 ■

■ (※1) エリアプロジェクト@おきコレについて ■

「エリアプロジェクト@おきコレ」とは、スマートフォン向けアプリを通して、地域メディアが地域情報を集約して提供するプロジェクトです。このプロジェクトは、2014年3月に発足いたしました。

株式会社エフエム沖縄 / 株式会社沖縄タイムス社 / 沖縄テレビ放送株式会社 / 株式会社ラジオ沖縄
琉球朝日放送株式会社 / 株式会社琉球新報社 / 琉球放送株式会社

株式会社アドスタッフ博報堂 / 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(企画、開発、運営)

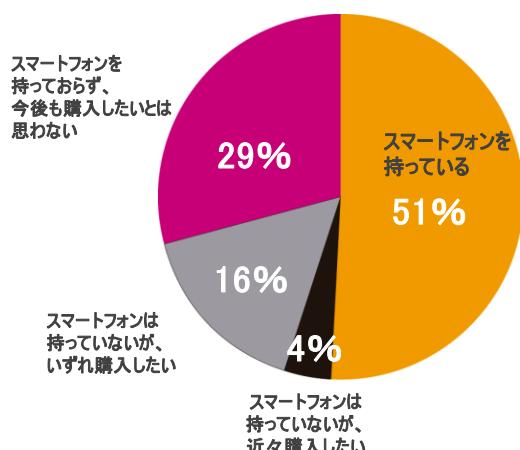
■ (※2) 実証実験の結果 報告 ■

【沖縄県内のメディア環境】

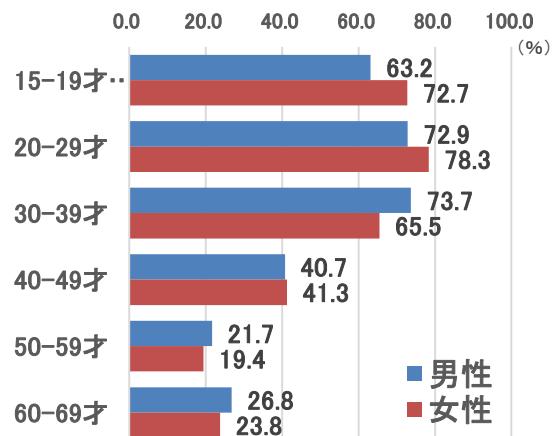
- 沖縄県内のスマートフォン所有状況

- 「スマートフォン所有状況」を見ると、「持っている」「近々購入したい」と答えた人が、55%でした。
また、39歳以下では、男女とも60%を超える割合(20代は70%超え)で、スマートフォンを所有しています。

グラフ① スマートフォン保有状況(全体)



グラフ② スマートフォン保有状況(性年齢別)

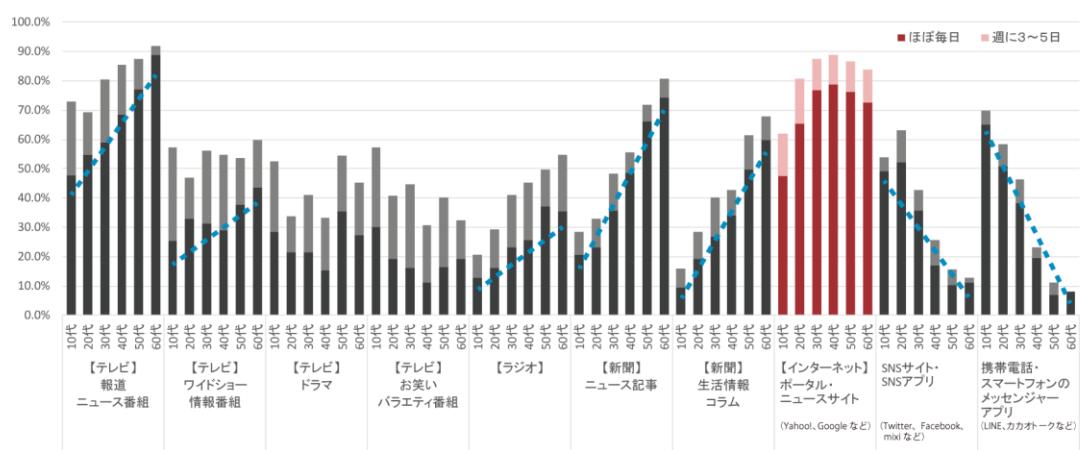


2014年2月 博報堂DYメディアパートナーズ独自調査(沖縄県 N=611)

- メディアへの接触習慣

- 「メディアへの接触習慣」を見ると、【テレビ】【ラジオ】【新聞】などへの若年層の接触量が少ない中、【インターネット】の「ポータル・ニュースサイト」では、若年層を含めて全般的に高く、10代で60%以上、その他世代においては80%を超える、高い数値になっています。

グラフ③メディアへの接触習慣(年代別)

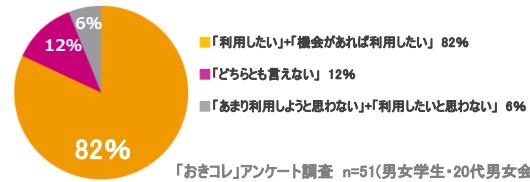


【「おきコレ」実証実験後のアンケート調査結果】※抜粋

-満足度

- 「満足度」について聞いたところ、「利用したい」「機会があれば利用したい」が82%、「どちらとも言えない」が12%でした。
- 一方で、「あまり利用しようと思わない」「利用したいと思わない」と言ったネガティブな意見は6%にとどまりました。

グラフ④ 利用後の満足度

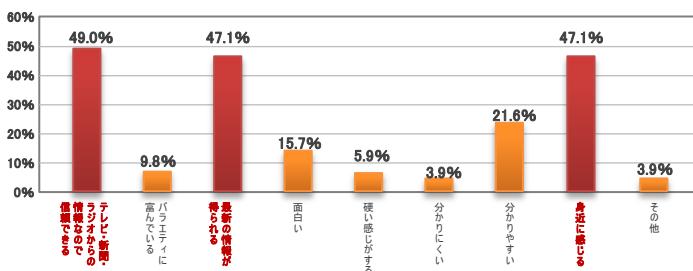


「おきコレ」アンケート調査 n=51(男女学生・20代会社員・主婦)
※モニターユーザーにアプリ利用開始から1ヶ月後に実施
※以下、グラフ⑤～⑧においても同様

- 利用後の感想

- 「利用後の感想」について聞いたところ、「テレビ・新聞・ラジオからの情報なので信頼できる」が49.0%、「最新の情報が得られる」が47.1%、「身近に感じる」が47.1%でした。
- 結果から、沖縄県民に慣れ親しまれたメディアに対する、信頼感や身近感という点で、ユーザーから評価を得ていることが分かりました。

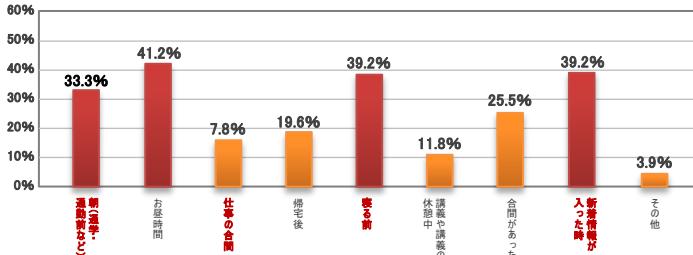
グラフ⑤ 利用後の感想



- 利用時間帯

- 利用時間帯としては、「お昼時間」が41.2%、続いて、「寝る前」と「新着情報が入った時」が39.2%でした。また、「朝(通学・通勤前など)」と答えた人の割合は33.3%。「おきコレ」は、多くの時間帯において、利用されていました。

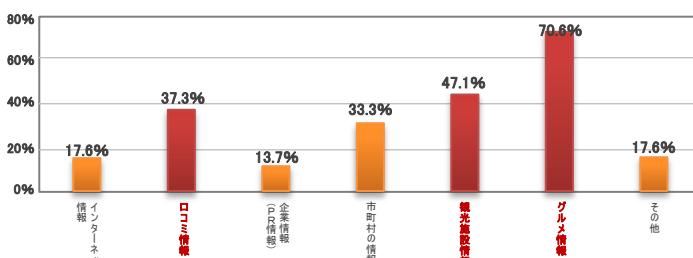
グラフ⑥ 利用時間帯



- 入れて欲しい情報(=情報ニーズ)

- 「グルメ情報」が70.6%で突出していました。続いて、「観光施設情報」が47.1%、「口コミ情報」が37.3%でした。
- 特に生活に密着した情報、あるいはレジャー関連の情報に対するニーズが高いことが伺えます。

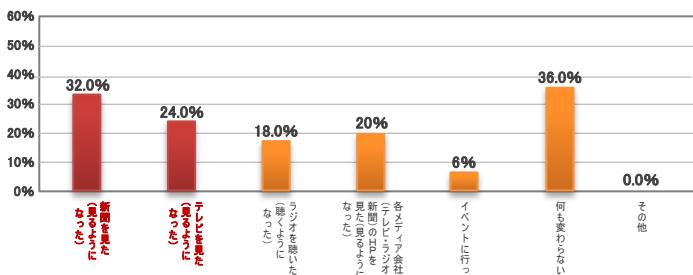
グラフ⑦ 入れて欲しい情報



- 利用後の媒体接触変化

- 「新聞を見た(見るようにになった)」が32.0%、「テレビを見た(見るようにになった)」が24.0%、「ラジオを聴いた(聴くようにになった)」が18.0%でした。「おきコレ」に接触することで、各媒体への接触意向も高まるきっかけになるという兆しも見られました。

グラフ⑧ 「おきコレ」利用後の媒体接触変化



【「おきコレ」実証実験後の調査概要】

①モニターテスト実施概要

実施方法:モニター募集後、対象者にテストアプリを配布(モニターのスマートフォンにDL)

実施期間:2014年3月17日～4月17日(テスト期間終了後の利用も可)

実施対象:沖縄在住者60名 (学生男女:20名、20才代会社員男女:20名、主婦:20名)

②アンケート

モニターユーザー(60名)に対し、アプリ利用開始から1ヶ月後にアンケートを実施。エリアアプリの利用状況や感想、今後のサービスの可能性に関する傾向を把握する。

③グルーピングアンケート

モニターユーザーのうち学生4名(1名欠席)、20才代会社員5名、主婦5名に対し、テストアプリの利用状況や感想、今後のサービスの可能性に関する意見を生声として聞き、生活の中でのエリアアプリの位置付け、今後のサービス開発に関する“気づき”を得る。※2014年4月19日・20日実施(各グループ約2時間)。